

令和5年度

# 自己評価

| I 保育の計画性   | 評価基準 |            |   |   |
|--|------|------------|---|---|
|  | 4    | はい         |   |   |
|  | 3    | 大体あてはまる    |   |   |
|  | 2    | あまりあてはまらない |   |   |
|  | 1    | いいえ        |   |   |
| 評価内容   | 4    | 3          | 2 | 1 |
| 1.園の教育理念・教育方針の理解                                   |      |            |   |   |
| ○ 園の教育理念や教育方針を理解している                               | ○    |            |   |   |
| ○ 園の方針、園長の考えについて教職員と話し合っている                        | ○    |            |   |   |
| ○ 園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできる                            | ○    |            |   |   |
| 2.園教育要領の理解   |      |            |   |   |
| ○ 教育要領を理解していると思う                                   | ○    |            |   |   |
| ○ 教育要領について、園長や教職と話し合っている                           | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児の姿や環境の構成。教師のかかわりなど想起できる                        | ○    |            |   |   |
| 3.教育課程の構成  |      |            |   |   |
| ○ 園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神を踏まえ園の教育理念、方針に従い構成している         | ○    |            |   |   |
| ○ 園の教育課程をもとに、保育の計画をたてている                           | ○    |            |   |   |
| ○ 園の教育課程は社会状況や子どもの実態を考慮しながら、見直しを行っている              | ○    |            |   |   |
| 4.園の方針を指導計画や保育に生かそうとしている                           |      |            |   |   |
| ○ 指導計画は教育要領、教育課程、幼児の実態等をもとに考えて作成している               | ○    |            |   |   |
| ○ 指導計画は幼児の興味や関心、これまでの生活の様子、予想されるこれからの生活を考慮して作成している | ○    |            |   |   |
| ○ 短期の指導計画は子どもの実態に合わせて自由に変更できるような順応性のあるものになっている     | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児の生活が豊かになるような行事を幼児の実態に合わせて精選している                | ○    |            |   |   |
| 5.環境の構成  |      |            |   |   |
| ○ 安全で清潔感のある環境構成をしている                               | ○    |            |   |   |
| ○ 指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような環境構成をしている            | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児が自ら活動を生み出していけるような素材との出会いを考えている                 | ○    |            |   |   |

|   |   |  |  |  |
|---|---|--|--|--|
| ○ 幼児が自ら活動していけるような場や空間の構成をしている             | ○ |  |  |  |
| ○ 遊びに必要な遊具や用具素材等、質・数量を配慮して用意している          | ○ |  |  |  |
| 6.環境の内容                                   |   |  |  |  |
| ○ 幼児の動線、目線に配慮した環境構成をしている                  | ○ |  |  |  |
| ○ 楽しい雰囲気の中で安心して遊び込める環境構成をしている             | ○ |  |  |  |
| ○ 幼児の活動がより豊かになるように活動の展開に応じて環境を再構成している     | ○ |  |  |  |
| ○ 幼児の発想を柔軟に取り入れて、保育室の装飾や展示を考えている          | ○ |  |  |  |
| ○ 教師の願いや意図を持って環境構成をしている                   | ○ |  |  |  |
| ○ 幼児の発達や生活を見直して環境構成をしている                  | ○ |  |  |  |
| ○ 季節の変化に応じた環境構成をしている                      | ○ |  |  |  |
| ○ 異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている             | ○ |  |  |  |
| 7.保育と計画の評価・反省                             |   |  |  |  |
| ○ 自分の保育と計画の評価・反省は行うようにしている                | ○ |  |  |  |
| ○ 自分の保育と計画の評価・反省についての次の保育と計画に生かせるように行っている | ○ |  |  |  |
| ○ 自分の保育を他の教師に見てもらい、それをもとに検討する             | ○ |  |  |  |

| II 保育の在り方、幼児への対応                                   | 評価基準 |            |   |   |
|--|------|------------|---|---|
|  | 4    | はい         |   |   |
|  | 3    | 大体あてはまる    |   |   |
|  | 2    | あまりあてはまらない |   |   |
|  | 1    | いいえ        |   |   |
| 評価内容   | 4    | 3          | 2 | 1 |
| 1.健康と安全の配慮   |      |            |   |   |
| ○ 朝の登園時には特に視察を大切にして幼児の体調を確認している                    | ○    |            |   |   |
| ○ 体調が悪そうな時は検温をする等適切な処置を行い家庭に連絡をしている                | ○    |            |   |   |
| ○ 事故や怪我は発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡を取り、適切な処理をしている        | ○    |            |   |   |
| ○ 園内に危険な箇所、活動が年齢や能力に対して危険ではないか等常に観察している            | ○    |            |   |   |
| ○ 危険予測について、幼児達と一緒に考えたりして安全な遊び方について気付くことができるようにしている | ○    |            |   |   |
| ○ クラスの中の水道付近の清掃や換気、採光、室温等に気を付けている                  | ○    |            |   |   |
| ○ トイレの清掃やトイレの使い方について配慮し、幼児にも正しい使い方を具体的に示している       | ○    |            |   |   |
| 2.幼児のみとりと理解  |      |            |   |   |
| ○ 一人ひとりの幼児とのかかわりを特に大切に考え対応をしている                    | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている           | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児同士のかかわりの中で、その姿の内にある心の動きについても推察するようにしている        | ○    |            |   |   |
| ○ 見えないところで活動している幼児にいてもその活動の様子を推察するようにしている          | ○    |            |   |   |
| ○ 一人の幼児をじっくり見ながら、周囲にも目を配ることができる                    | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児のこれまでの姿、今の姿からこれからの活動をある程度予想することができる            | ○    |            |   |   |
| ○ 個々の幼児の発達の姿や課題について見通しを持って理解できる                    | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児同士のかかわりの姿をとらえることができる                           | ○    |            |   |   |

|  |                       |  |  |  |
|--|-----------------------|--|--|--|
| <input type="radio"/> 幼児たちが今興味や関心を持っていることがわかる        | <input type="radio"/> |  |  |  |
| <input type="radio"/> 幼児の思いを自分の一方的な感じ方で決めつけないようにしている | <input type="radio"/> |  |  |  |
| <input type="radio"/> 幼児の理解のために保護者と話し合うことがある         | <input type="radio"/> |  |  |  |
| <input type="radio"/> 幼児の姿を家庭での生活を踏まえて理解している         | <input type="radio"/> |  |  |  |
| <input type="radio"/> 幼児の姿を多面的にとらえることができる            | <input type="radio"/> |  |  |  |

| II 保育の在り方、幼児への対応                              | 評価基準 |            |   |   |
|---|------|------------|---|---|
|   | 4    | はい         |   |   |
|   | 3    | 大体あてはまる    |   |   |
|   | 2    | あまりあてはまらない |   |   |
|   | 1    | いいえ        |   |   |
| 評価内容  | 4    | 3          | 2 | 1 |
| 3.指導とかかわり                                     |      |            |   |   |
| 〔共同作業者として〕                                    |      |            |   |   |
| ○ 幼児に合わせて同じように動いたり、同じ目線にたつてものを見つめたりしている       | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児の気持ちに共感しながら、一緒に遊んでいる                      | ○    |            |   |   |
| ○ 一人ひとりの幼児の思いを把握して寄り添いながらかかわっている              | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児からのアイデアを大切に受け止めている                        | ○    |            |   |   |
| 〔あこがれを形成するモデルとして〕                             |      |            |   |   |
| ○ 「先生のようにやってみたい」と幼児が思うようなモデルとしての姿を心がけている      | ○    |            |   |   |
| ○ 教師らしい品位ある言葉、正しい日本語を心がけている                   | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしないようにしている | ○    |            |   |   |
| ○ いたわり、思いやり、良いこと悪いこと等の道徳性を培ううえでもモデルとなっている     | ○    |            |   |   |
| 〔心のよりどころとして〕                                  |      |            |   |   |
| ○ 幼児の一人ひとりのありのままの姿を受け入れようとしている                | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児とのスキンシップを取るようになっている                       | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児一人ひとりの良さを認めるようになっている                      | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児一人ひとりの話をよく聞くようになっている                      | ○    |            |   |   |
| 〔遊びの援助者として〕                                   |      |            |   |   |
| ○ 幼児が遊びを深めていくためのヒントやアイデアを提供している               | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児の年齢に応じた分かりやすく聞き取りやすい語りかけをしている             | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児が行き詰っている時に適切な援助をしている                      | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児が自ら考えたり工夫したり、できるような見守り方をしている              | ○    |            |   |   |

|   |   |  |  |  |
|---|---|--|--|--|
| ○ 幼児を褒めたり、励ましたり、目当てを持たせるような言葉掛けをしている          | ○ |  |  |  |
| ○ 禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせる言葉や態度はできるだけ控えている      | ○ |  |  |  |
| ○ “一人ひとり”と“みんな”の関係を常に考えながらかかわっている             | ○ |  |  |  |
| ○ 幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をしている                     | ○ |  |  |  |
| 〔その他〕   |   |  |  |  |
| ○ 幼児の年齢や発達に応じたかかわり方をしている                      | ○ |  |  |  |
| ○ 幼児の個性や性格に応じたかかわり方をしている                      | ○ |  |  |  |
| ○ 幼児を無視したり、体罰を加えることはどのような場合でもしていない            | ○ |  |  |  |
| 4.保育者同士の協力・連携                                 |   |  |  |  |
| ○ クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉かけや対応をしている           | ○ |  |  |  |
| ○ クラスの環境構成等についてお互いにフランクに意見交換をしている             | ○ |  |  |  |
| ○ 教職員全員がすべての幼児についての理解できるような様々な工夫をしている         | ○ |  |  |  |
| ○ 指導上配慮を必要とする幼児については教職員全体で話し合いをし、対応をするようにしている | ○ |  |  |  |
| ○ 他のクラスや異年齢の幼児達と触れ合うような様々な工夫をしている             | ○ |  |  |  |
| ○ 他のクラスの幼児達とかかわるよう様々な保育の形態を取り入れている            | ○ |  |  |  |

| Ⅲ保育者としての資質や能力・適正                   | 評価基準 |            |   |   |
|------------------------------------|------|------------|---|---|
|                                    | 4    | はい         |   |   |
|                                    | 3    | 大体あてはまる    |   |   |
|                                    | 2    | あまりあてはまらない |   |   |
|                                    | 1    | いいえ        |   |   |
| 評価内容                               | 4    | 3          | 2 | 1 |
| 1. 専門家としての能力・良識                    |      |            |   |   |
| ○ 幼稚園教諭として専門知識や技能を身に付けている          | ○    |            |   |   |
| ○ より高度な専門知識や技能を身に付けようと研鑽している       | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児の性格や個性を把握するよう努めている             | ○    |            |   |   |
| ○ 保護者に対し、幼児の事をわかりやすく話せる            | ○    |            |   |   |
| ○ 保護者との信頼関係をつくるよう努めている             | ○    |            |   |   |
| ○ 仕事の手順をよく考え、能率よく行っている             | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児が考え、感じていることがある程度予測できる          | ○    |            |   |   |
| ○ 保育時間外でも保育者としての誇りと自覚を持った言動を心がけている | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児や保護者との対応には、公平さを欠かさないようにする      | ○    |            |   |   |
| ○ 何かをしてもらった感謝の気持ちを言葉で表している         | ○    |            |   |   |
| ○ 自らの健康に配慮し、保育をする上で安全性にも気を付けている    | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児と保護者の顔や名前を把握している               | ○    |            |   |   |
| ○ 職務上知り得た情報の秘密を守っている               | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児が成長して変容していくことに喜びを感じる           | ○    |            |   |   |
| ○ 幼児や教育に関する情報を絶えずとらえようとしている        | ○    |            |   |   |
| ○ 幼稚園や幼児のことだけでなく自然や社会の出来事にも興味がある   | ○    |            |   |   |
| ○ 幼稚園の仕事の他に、多様な趣味を持っている            | ○    |            |   |   |
| ○ 自然に対する感性を持っている                   | ○    |            |   |   |
| ○ 命の尊さを感じている                       | ○    |            |   |   |
| ○ 世界の情報、出来事に興味を持っている               | ○    |            |   |   |
| ○ ごく身近な地域の出来事に関心がある                | ○    |            |   |   |

| IV保護者への対応  | 評価基準 |            |   |   |
|--|------|------------|---|---|
|  | 4    | はい         |   |   |
|  | 3    | 大体あてはまる    |   |   |
|  | 2    | あまりあてはまらない |   |   |
|  | 1    | いいえ        |   |   |
| 評価内容   | 4    | 3          | 2 | 1 |
| 1.情報の発信と受信                                       |      |            |   |   |
| ○ クラスの子どもの様子、自分の考え方、保育のポイント等をクラスだより等で知らせている      | ○    |            |   |   |
| ○ 電話、連絡帳等で緊急な連絡等を行っている                           | ○    |            |   |   |
| ○ 個々の子どもの様子は直接話したり、電話、連絡帳等を使って伝え合っている            | ○    |            |   |   |
| ○ 保育参観や保護者会を開いて、保育について共通理解をしている                  | /    | /          | / | / |
| ○ いつでも保護者と個別懇談ができるようにしておく                        | ○    |            |   |   |
| ○ 自分の考えをきちんと話し、保護者の話を、心を開いてよく聞く                  | ○    |            |   |   |
| 2.協力と支援（保護者に対して）                                 |      |            |   |   |
| ○ 保護者の要望等は、園長、主任等に相談や報告をしている                     | ○    |            |   |   |
| ○ 保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的意義付けをはっきりさせてからにする | ○    |            |   |   |
| ○ 保護者の協力が必要な場合は、園長と協議し具体的な協力の在り方について保護者と話し合っている  | ○    |            |   |   |
| 3.守秘義務の遵守  |      |            |   |   |
| ○ 保護者の個人情報については園の方針に従っている                        | ○    |            |   |   |
| ○ 個々の子どもの情報は口外していない                              | ○    |            |   |   |
| ○ 保護者、家族の情報を口外していない                              | ○    |            |   |   |
| 4.対応上のマナー、良識                                     |      |            |   |   |
| ○ 正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて語り掛け、相手の話をしっかりと聞く           | ○    |            |   |   |
| ○ 親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしていない                | ○    |            |   |   |
| ○ 電話は手短かに簡潔に対話することを心掛けている                        | ○    |            |   |   |
| ○ 保護者の国籍、思想、宗教により、また子どもの性差、障害、個性等のよって区別、差別していない  | ○    |            |   |   |
| ○ 長期の欠席、入院等の場合、園、クラスの様子を伝えている                    | ○    |            |   |   |

|  |   |  |  |  |
|--|---|--|--|--|
| ○ 園の全ての保護者に対し、親しみを込めた会話を心掛けている                   | ○ |  |  |  |
| 5.クレームへの対処の仕方                                    |   |  |  |  |
| ○ 保護者からのクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に連絡、報告、相談をしている | ○ |  |  |  |
| ○ クレームの内容によっては、教職員全体で検討し共通理解の上で対処している            | ○ |  |  |  |

| V 研修と研究  | 評価基準 |            |   |   |
|--|------|------------|---|---|
|  | 4    | はい         |   |   |
|  | 3    | 大体あてはまる    |   |   |
|  | 2    | あまりあてはまらない |   |   |
|  | 1    | いいえ        |   |   |
| 評価内容   | 4    | 3          | 2 | 1 |
| 1.研修・研究への意欲・態度                                 |      |            |   |   |
| ○ 研修会や研究会に参加する場合には事前にその内容を確認したり、自分なりの考えをまとめている | ○    |            |   |   |
| ○ 研修会や研究では活発に発信している                            | ○    |            |   |   |
| ○ 専門書や専門雑誌を読んでいる                               | ○    |            |   |   |
| ○ 研究保育を参観する時は自分なりの課題と視点を持って観ている                | /    | /          | / | / |
| ○ 自分の保育のあり方や悩みについて、園長、主任、職員と話し合っている            | ○    |            |   |   |
| ○ 他園を見学している                                    | /    | /          | / | / |
| 2.教師としての専門性に関する研修・研究                           |      |            |   |   |
| ○ 子どものみとりとその内面理解についての研修・研究を行っている               | ○    |            |   |   |
| ○ 指導計画の作成や記録の取り方考察のあり方に関する研修・研究を行っている          | ○    |            |   |   |
| ○ 環境構成・再構成のあり方についての研修・研究を行っている                 | ○    | ○          |   |   |
| ○ 自分なりの幼児観・保護者観の確立のための研修・研究を行っている              | ○    |            |   |   |
| ○ 確立された幼児観・保護者観について客観的にみつめるための研修・研究を行っている      | ○    |            |   |   |
| ○ 保育者同士の協力連携のあり方について研修・研究を行っている                | ○    |            |   |   |
| ○ 自らの得意分野を確立するための研修・研究を行っている                   | ○    |            |   |   |
| ○ マナー等に関する研修を行っている                             | /    | /          | / | / |
| ○ 保護者への対応のあり方について研修を行っている                      | ○    |            |   |   |
| 3.遊具・教材に関する研修・研究                               |      |            |   |   |
| ○ 園の遊具や教材について様々な利用方法について研究している                 | ○    | ○          |   |   |
| ○ 園の遊具はどのような使い方が危険かわかる                         | ○    |            |   |   |
| 4.園内の環境に関する研修・研究                               |      |            |   |   |

|  |   |   |  |  |
|--|---|---|--|--|
| ○ 園舎の構造が持つ特質が幼児にとってどのような教育的な意味があるか理解している                                     | ○ |   |  |  |
| ○ 園庭をどのように教育的に利用していくことができるか理解している  | ○ |   |  |  |
| 5.今日の課題に関する研修・研究   |   |   |  |  |
| ○ 子どもを取り巻く様々な状況が変化してきていることについて学習し、何が問題あるか、背景、原因、実態はどうであるかについて理解したり、学習したりしている | ○ |   |  |  |
| ○ 様々な変化の中で幼児にとって何が問題であるか子ども園としてはそれに対してどのような教育を行われなければならないかについて考えたり学習している     | ○ |   |  |  |
| ○ アレルギー・自立の遅れ等、最近多くみられる問題について理解している  | ○ |   |  |  |
| ○ 障害のある幼児に対応する保育のあり方を学習している  | ○ |   |  |  |
| ○ 預かり保育や子育て支援のあり方・考え方について学習している  | ○ |   |  |  |
| ○ チーム保育についてその意義やあり方について研修・研究している   |   | ○ |  |  |
| ○ 幼保こ小連携についてのその意義やあり方について研修・研究している   |   | ○ |  |  |
| ○ 危機管理について現状やあり方について研修・研究している  | ○ |   |  |  |
| 6.自らを高めるための学習  |   |   |  |  |
| ○ 趣味・人とのかかわり等、潤いのある生活を心がけている   | ○ |   |  |  |
| ○ 保育の専門知識や技能の他に趣味や読書、ボランティア活動等に関心がある   | ○ |   |  |  |
| ○ 尊敬する人の話は是非聞きたい   | ○ |   |  |  |
| ○ いろいろな分野の人と意見交換し合いたい  | ○ |   |  |  |

# 学校評価シート（学校関係者評価）

（評価対象 令和5年度）

幼稚園型認定こども園柏ひがし幼稚園

評価委員 富勢西小学校校長、布施新町町会長、保護者3名

## 《評価委員様①》

この1年、ご招待いただいた園の行事や話し合い、頂戴いたしました資料を参考にさせていただきながら、記述をさせていただきます。

なお、保育者の「自己評価6つの観点」をもとに考えさせていただきました。

### ○保育の計画

先生方の自己評価の高さに感心しています。自信をもって保育に携わっている様子が、想像できます。これは、園の方針や園長先生の考えについて教職員同士が話し合いをもとに共有していることや「どんな子供たちに育てたいのか」、目指す子どもの姿を実現させるために教職員が「ONEチーム」になっているからだと考えます。

### ○保育の在り方、幼児への対応

先生方と幼児のやりとりをすべて拝見しているわけではありませんが、子どもに対してのちょっとした気遣いや心がけを垣間見ることができました。保護者は、そんな先生方の姿を身近で見ているので、安心して子どもを預けていると思います。

特別に支援が必要な子供たちを何人かお見掛けしました。支援を必要としている子どもたちに笑顔で寄り添っている先生方の姿は、尊いですね。

いつ見ても、子どもたちが落ち着いて座っていたり、先生の話聞いていたり、とても感心しています。園長先生も話して下さっていましたが、「待つこと」大事ですね。

3歳児学級の先生もピアノが上手な4歳児学級の先生も、子どもたちに話を聞いてもらうために、だまって待っていましたね。

### ○保育者としての資質

これは正直わかりません。短時間の中では、見えないことが多いので。ただ、先生方の服装や立ち居振る舞いは、きちんとされていますね。子どもたちは、先生方の後姿を見て

育つと言われますが、園の指導がしっかりされていることを感じています。

#### ○保護者への対応

保護者アンケートに書かれていることが全てを表していると思います。どの文章を拝読させていただいても、教職員への感謝の言葉、労いの言葉がほとんどで、保護者への対応のよさうかがえます。きっと、保護者の方とのコミュニケーションがよく取れているのだと思います。

#### ○地域社会とのかかわり

これは、本当にわかりません。学区に存在していれば、多少なりとも情報が入ってくることもあると思うのですが。

#### ○研修と研究

自己評価結果を拝見させていただく限り、様々な視点で研修を行っていることがよくわかります。幼保こ小連携について、今後は子どもたちもそうですが、教職員同士も情報交換や保育、教育について話し合う機会が持てるといいかなと思います。

よりよい園にするために、先生方がいろいろな工夫や努力をされていることが分かります。さまざまな生活環境や生活レベルの子どもがいる中、園の工夫や努力がすぐには実を結ばないことも多いのではないかと思います。そんな状況の中でも、多くの園行事を通して、たくさんの練習の成果や楽しそうに頑張る子どもたちに向き合う姿勢や熱意、先生方を支えている園長先生の覚悟も感じ取ることができました。

今後も、柏ひがし幼稚園が子どもたちはもちろん、先生方の職場としても気持ちよく過ごせる場所であってほしいと思います。

最後になりますが、園におじゃまさせていただいたとき、先生方から気持ちの良いご挨拶をいただいたり、施設内をご案内していただいたりと、丁寧なご対応に感謝申し上げます。職員の皆様にもよろしくお伝えください。

園長先生をはじめ教職員の皆様、どうかご自愛ください。

## 《評価委員様②》

この一年間大変お世話になりました。2年前まではビジネス1本で渡ってきた人間に、改めて「人間を育てること」の意味を教えていただいたことに深く感謝申し上げます。

今改めて地元活動の2年間を振り返ってみますと、この間の出会いで、自分の世界が3倍くらいに広がった出会いとなったことをうれしく思っています。

昨秋の「秋祭り」で、20年に渡って東小の通学路で交通指導を一人続けてこられた方を顕彰させていただきました。この世の中からほとんど顧みることがなされなかった方の、横断歩道での毎朝の児童への声掛け（累計で30万回にも上る）が、卒業時の手紙、あるいは成人後の出会いでのお礼となって、しっかりと子供たちの心に刻まれていたことを知るにつれ、私などは足元にも及びませんが、世代を超え精神は引き継がれていくものであることを確信いたしました。

私にとっては、腰を落として児童に向かい合ってしっかりと子供たちと向き合っている先生たちのお姿を拝見するにつれ、その方と同じく尊敬の念を禁じません。

社会的には今一番大事なのに、相応の評価がされていない仕事であることを残念に思っています。

先生方、めげずに頑張ってください！

お世話になりました。

## 《評価委員様③》

柏ひがし幼稚園の先生方は、いつも笑顔で迎えてくれ保護者に対して否定せずありのままの話を笑顔で聞いてくれるので、保護者にとって強い安心感となっていると思います。

また、子どもたち一人ひとりの発達や特性について真剣に考え、向き合ってくれていることを強く感じます。

行事の欠席に対しても、再度お休みの子のために行事を開催することは、簡単な事ではないと思いますが、多くの保護者にとって「行事に参加できなかった子（親）の気持ちを忘れずに教えてくれている」という安心や喜びにつながっていると思います。

駐車場の全員分確保についても、当然ではなく、園長先生はじめ先生方の努力によるも

のだと感謝しております。

教室などの衛生状況も先生方の努力により保たれていると思います。雑巾などの寄付がすぐに集まるのも、先生方への保護者の感謝のあらわれだと思います。

役員活動に対しては、引継ぎを大事にすること、受け継がれてきた「気持ち」の面を大切にしていけることが、今後大切だと思います。

### 《評価委員様④》

1年間、貴重な経験をさせていただき、とても充実した時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。幼稚園に行く機会が増え、子どもたちの日常を見て感じる事ができて、嬉しかったです。

子どもたちはいつもみんな明るく挨拶をしてくれました。その様子から毎日先生方が愛情いっぱいに接してくださっているおかげで、子どもたちはみんな安心して園生活を送ることができているのだな感じました。

また、園行事もどれも毎回とても見応えがありました。

子どもたちが立派に発表できるように優しく楽しくご指導いただくことはもちろんのこと、さらに何十人もの丁寧でかわいい衣装作りや、素敵なピアノ演奏や、温かい雰囲気の会場の飾りつけなど、先生方の並々ならぬご尽力のおかげで、どれも本当に素晴らしく、とても良い思い出となりました。

園長先生はじめ、先生方、いつも本当にありがとうございます。

我が子を柏ひがし幼稚園に預かっていただき、大変感謝しております。来年度もどうぞよろしく願いいたします。

### 《評価委員様⑤》

いつも子どもたちのために、全力を尽くしてくださりありがとうございます。

「幼稚園教育活動に関するアンケート」—保護者用—にも、たくさんの保護者の方がかかっているように、柏ひがし幼稚園は、一人ひとりの子どもをしっかり見て、向き合うことができている園だと感じています。

担任の先生でなくても、違う学年の先生でも全員が子どもの名前と顔を覚えていて、全員で見守ってくださっていることが印象的です。

小さなケガでも冷やしたり、絆創膏を貼ったりして対応してくださることは、子どもたちも「先生は見捨てずにきちんと対応してくれる“痛い”といったことをちゃんと受け入れてくれる。」と安心につながると思います。

また、コロナ禍でできていなかった行事が令和5年度は少しずつできるようになり、特に年長児のお泊り会は、年長児のために園の先生方がたのしいイベントをたくさん企画してくださり、保護者がいない環境でも“さみしい”“こわい”と感じる時間がないくらい充実させてくださったこと。それによって「お母さんやお父さんがいなくても、お友達や先生達と過ごして、朝までがんばれた！」という子どもたちの自信となったと感じています。

自己評価についてですが、先生方も一人ひとりの幼児とのかかわりを、話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受けとめて、考えて対応して下さっていることが分かりました。

幼児が自ら活動できるような環境づくりや、楽しい雰囲気づくり、安全を考えて計画して下さっていることは当たり前のようにも、毎日の活動の中で続けていくのは大変だと思います。

日々、子どもたちの為にたくさんのことを考えて下さって、ありがとうございます。

個人的な意見として、先生方は朝も早く夜も遅いので、先生本人もそのご家族もきっと大変だろうと思います。

先生に気持ちの余裕がないと、一人ひとりの子どもたちと向き合い続けるのも大変だと思いますので、こども園として朝から夜まで預かりがある中、制作や事務作業など、たくさん仕事があるかと思いますが、先生の負担を減らせることは時代に合わせて減らしていただければと思います。

また、他のクラスとのかかわりについてですが、お花クラス（縦割りクラス）での活動がもう少しだけ増えたらかかわりも増えるのかなと思いました。

お忙しい中、いつも子どもたちや私たち保護者に丁寧に対応して下さって、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

ありがとうございます。これからも一人ひとりと向き合ってください文化を受け継いでいってくだされば嬉しいです。

以上